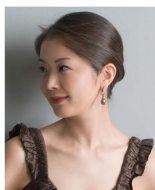


審査委員会委員：敬称略 50 音順

大島 利雄(城西大学教授、東京大学名誉教授)
岡本 和夫(独立行政法人大学評価・学位授与機構理事、東京大学名誉教授)
加古 孝(電気通信大学名誉教授、前日本応用数理学会会長)
桂 利行(法政大学教授、東京大学名誉教授・審査委員長)
小谷 元子(東北大学大学院理学研究科教授・原子分子材料科学高等研究機構(AIMR)機構長)
杉山 直(名古屋大学大学院理学研究科教授)
坪井 俊(東京大学大学院数理科学研究科長、教授)
西浦 廉政(東北大学原子分子材料科学研究機構(WPI-AIMR)教授)
宮岡 洋一(前日本数学会理事長、東京大学大学院数理科学研究科教授)
村井 純(慶應義塾大学環境情報学部長、教授)
村山 斉(東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構長、教授)
室田 一雄(東京大学大学院情報理工学系研究科教授)
森 重文(京都大学数理解析研究所教授)
若山 正人(九州大学理事・副学長)

山岸 ルツ子(やまぎし るつこ)【ピアニスト】



カナダ・バンクーバー生まれ。3歳よりピアノを始める。帰国後、桐朋学園大学音楽学部にて学び、19歳よりバンクーバーに留学、1997年巨匠ラザール・ベルマンの下に弟子入り。以後8年間に亘り最後の弟子としてイタリア・フィレンツェにて研鑽を重ねる。1995年イタリア・ローマ国際コンクール第3位受賞。1997年カナダ、キワニスコンクール、コンチエルト・ソロ両部門において総合第1位受賞。同年カナダ、B.C.アソシエーション・パフォーミング・アーツ・コンクール第1位受賞。1999年東京、イタリアでのデビューリサイタル以後、日本全国各地でのコンサート、海外では北米、南米、ヨーロッパ各地にて演奏活動を行う。

2013年には、西本智実指揮イルミナートフィルハーモニーオーケストラ全国ツアーにて共演、住友生命全国縦断チャリティコンサート、東京・紀尾井ホールにてソロリサイタル等が開催された。

藤原 洋(ふじわら ひろし)【株式会社インターネット総合研究所 代表取締役所長／株式会社ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼社長 CEO】



1954年福岡県生まれ。1977年京都大学理学部卒業。東京大学工学博士(電子情報工学)。日本アイ・ビー・エム、日立エンジニアリング、アスキーを経て、1996年12月インターネット技術に関する研究開発企業であるインターネット総合研究所を創立。現在、一般財団法人インターネット協会副理事長、慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授、SBI大学院大学副学長を兼務。2010年4月大学共同利用法人自然科学研究機構経営協議会委員、2011年9月ブロードバンドタワー代表取締役会長に就任。2013年12月総務省ICT新事業創出推進会議構成員、2014年1月電波政策ビジョン懇談会構成員に就任。著書『ネットワークの覇者』(日刊工業新聞社)、『科学技術と企業家の精神』(岩波書店)、『第4の産業革命』(朝日新聞出版)ほか多数。

藤原洋 6 周年記念イベント 第3回藤原洋数理科学賞 授賞式 ピアノコンサート



2014 年 10 月 26 日(日)14:00 ~ (13:30 受付開始)
慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 藤原洋記念ホール

後援：一般社団法人日本数学会  一般社団法人日本応用数理学会 JSIAM

運営：藤原洋数理科学賞 運営事務局

(株式会社インターネット総合研究所)



ごあいさつ

日本経済は、安倍政権の推進するアベノミクス効果としての大胆な金融政策と財政出動により、一部明るい兆しが見えてきておりますが、真の日本再生のためには、知力を基礎とした新しい社会を形成する必要があると思われます。知力の基礎となる重要な要素が数学・数理学であり、これを基礎とした新産業創出と社会問題の解決が今強く求められています。

このたび朗報が飛び込んでまいりました。当初から当数理学賞の審査員を務めて頂いている森重文京都大学教授（1990年に日本人3人目のフィールズ賞受賞）が、アジアで初めての国際数学連合会長に就任されることが決定しました（任期2015年から4年）。森先生の同会長就任を当日皆様と共にお祝いしたいと存じます。

また、文部科学省としても、独立行政法人科学技術振興機構(JST)は、数学の計り知れない潜在力に期待してCREST(Core Research for Evolutional Science and Technology：戦略的創造研究推進事業)に数学のテーマを採択し、数学応用を目指したプロジェクトを展開しています。

国立大学法人においても様々な試みがなされており、東北大学、東京大学、京都大学、九州大学などでは、純粋数学の深化と共に、産業界での未来技術の数学基盤創成を目指して様々な数理学の研究活動が活発化しており、以前にも増して数理学と異分野との学際領域における研究や、産学連携の重要性が増していると思われます。

このような状況の下、数学のさらなる応用を探り、社会の活性化に資するため、数学・数理学（情報数学を含む）の分野に対する藤原洋数理学賞を設けることといたしました。授賞対象者は、現実社会に有益な応用を有する数学の理論を構築した研究者、あるいは社会の発展のために有用な数学の応用を見出した研究者であり、このような業績に対し、大賞1件、奨励賞1件を設け、社会への貢献を顕彰いたします。この事業によって、数学・数理学の応用を見出す研究がますます活性化し、人類社会の発展に大きく寄与することを期待しております。

第3回の授賞式におきましては、数理学の重要な応用分野として人工知能研究における急速な進展が見られます。そこで、『2045年問題』＝人工知能が人類の知恵と知識を上回る時(Singularity)が来ると再認識されています。そこで、同分野における問題提起で著名な松田卓也博士をお招きし、来るべき2045年問題について基調講演をお願いすることと致しました。併せて数理学が拓く新たな人工知能の世界について皆様と共に考える場とできればと願っております。

2014年10月26日
株式会社インターネット総合研究所 代表取締役所長
株式会社ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼社長CEO

藤原 洋

選考にあたって

数学は科学のインフラです。数学者フォン・ノイマンによるコンピュータの原理の発明のように、数学は時として、社会を根底から変えることもあります。数学のこのような力に期待して、最近、数学を社会でもっと活用しようという試みが盛んになっています。藤原洋数理学賞は、このような社会の動きに対応するもので、数学の理論を社会に役立てた研究者、あるいは社会に役立つ数学理論を作り出した研究者を顕彰する賞です。

コンピュータが発達した現在、疑似乱数は科学の研究などに欠かせないものになっています。実際、疑似乱数生成は、モンテカルロ・シミュレーションや高次元数値積分に用いられ、インターネット通信における暗号化にも必要になっています。松本眞氏の開発したメルセンヌ・ツイスターと呼ばれる疑似乱数を生成する手法の数学的基礎は初等整数論にあり、数学的に厳密な理論設計と社会での有用性が認められ大賞に選ばれました。三浦佳二氏は、脳情報処理機構の解明に幾何学と統計学を応用し、情報幾何学や機械学習といった最先端の数学の知識を用いて脳科学の分野に貢献をしたことが高く評価されて奨励賞に選ばれました。

なお、受賞者の推薦・選考には、賞の性格上、数学者だけではなく、情報科学、物理学、天文学、工学の研究者の方にもご協力いただきました。ご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

藤原洋数理学賞 審査委員長
法政大学教授 東京大学名誉教授
桂 利行

プログラム

14:00-14:10	藤原 洋 挨拶
14:10-14:55	ピアノコンサート 演 奏 者：山岸 ルツ子 演 奏 曲：F.シューベルト（F.リスト編）：糸を紡ぐグレートヒエン F.シューベルト（F.リスト編）：アヴェ・マリア F.シューベルト（F.リスト編）：魔王 F.リスト：スペイン狂詩曲 ※曲目・曲順に変更がある場合がございます。予めご了承下さい。
14:55-15:05	休憩
15:05-15:45	基調講演 松田 卓也氏 「2045年問題－コンピュータが人類を超える日－」
15:45-16:05	授賞式 大賞受賞者 松本 眞(広島大学大学院理学研究科 教授) 奨励賞受賞者 三浦 佳二(東北大学大学院情報科学研究科 助教)
16:05-16:35	奨励賞受賞者 三浦 佳二氏 講演
16:35-16:45	休憩
16:45-17:35	大賞受賞者 松本 眞氏 講演
17:35-17:45	審査委員長 挨拶
18:00-19:30	レセプション(有料)

受賞者のご紹介



◆大 賞：松本 眞(まつもと まこと)
広島大学大学院理学研究科 教授
受賞業績：「疑似乱数メルセンヌ・ツイスターに関する研究」



◆奨励賞：三浦 佳二(みうら けいじ)
東北大学大学院情報科学研究科 助教
受賞業績：「幾何学と統計学を応用した脳情報処理機構の解明」

基調講演者のご紹介

松田 卓也(まつだ たくや) 神戸大学名誉教授 宇宙物理学者



1970年京都大学大学院・理学研究科・物理学第二専攻・博士課程修了。理学博士。同年京都大学工学部航空工学科助手、1973年同助教授、1992年神戸大学理学部地球惑星科学科教授、2006年同定年退官、神戸大学名誉教授。上記期間中に英国ユニバーシティ・カレッジ・カーディフ客員教授、国立天文台客員教授、日本天文学会理事長を勤める。その後、同志社大学、甲南大学で教え、2013年定年退職。現在はジャパン・スケプティックス会長、NPO法人あいんしゅたいん副理事長、中之島科学研究所研究員。専門は宇宙物理学、相対性理論、流体力学。余技として疑似科学批判、プレゼンテーション理論研究。著書「相対論的宇宙論」(講談社)、「正負のユートピア」(岩波書店)、「2045年問題－コンピュータが人類を超える日－」(廣済堂)、「間違いだらけの物理学」(学研)など多数。